

ローカル局の経営基盤強化のあり方及び放送事業者の経営ガバナンスの確保等について検討を行うため、「放送を巡る諸課題に関する検討会」の下に「放送事業の基盤強化に関する検討分科会」を設置。

主な検討事項（案）

1. 放送事業者の経営の現状分析・今後の見通し

- ローカル局の経営環境の変化（地方の人口減少、東京への一極集中等）
- 地域情報に対する視聴者の評価
- ローカル局の経営指標の分析・見通し

2. 放送事業者の経営基盤強化のあり方

- 地域コンテンツの流通促進（地域から全国へ、地域から海外へ）
- 地域情報を確保していくためのローカル局の経営基盤強化に向けた方策

3. AMラジオのあり方

- AMラジオの経営の現状と見通し
- AMラジオが引き続き社会的役割を担っていくために必要な方策

4. 放送事業者の経営ガバナンス確保

- 放送事業者に対し、経営ガバナンスに関するアンケートを実施して現状を把握し、優良事例（ベスト・プラクティス）を共有

当面のスケジュール

11月20日（火）

第1回会合、分科会の主な論点・今後の進め方 等

（以降、1ヶ月に1度を目途に開催）

来年3月

経営ガバナンスに関する取りまとめ

来年6～7月頃

中間取りまとめ（経営基盤強化）

再来年3月

最終取りまとめ（経営基盤強化）

(3)放送を巡る規制改革 (通信と放送の枠を超えたビジネスモデルの構築)

20 ローカル局の経営基盤の在り方の検討

(前略) 通信と放送の更なる融合、グローバルなコンテンツ展開など、新たな環境変化を踏まえ、民主主義の基盤として不可欠であるローカル局の経営基盤の在り方について総務省において検討する。その際、経営基盤強化のための規制や促進の在り方、免許の在り方など、併せて検討する。

21 放送事業者の経営ガバナンスの確保

(前略) 放送事業者において、企業価値向上や収益力向上の観点から、より一層、経営のガバナンスの確保に向けた取組がなされるよう、総務省において現状把握を行い、情報提供など必要な方策を検討する。